

まとめと今後の課題

応用基礎コアにおける必須内容を含む授業科目に関して、履修率は現状で十分高いが、一部の科目で低くなっている。ウェブサイトや各学年の履修のガイダンスにおいて、授業やプログラムの意義・目的等を周知したりすることで、履修率の向上を図る。

また理解度、満足度に関しては、基礎的概念の理解を目的とした科目で低い傾向にあり、身近な実際のデータを教材化することで学習意欲の向上を図る。ただし、高校で「情報」科目が必修化されて以降の学生が受講する際には、基礎的なレベルの向上が期待され、現在の傾向とは異なってくる可能性もあるので、今後も調査を継続し、推移を注視していきたい。

(表6) 都市デザイン学部向け教育プログラム(必修科目) 授業評価アンケート結果

[5点満点]

時間割コード	授業科目名	この授業を全体として理解できた	総合的に判断して、この授業に満足した	履修者数
195100	データサイエンス I/確率統計	3.83	4.11	44
195200	データサイエンス I/確率統計	3.39	3.43	59
195300	データサイエンス I/確率統計	3.39	3.43	69
190100	データサイエンス II/多変量解析	3.89	4.22	43
190200	データサイエンス II/多変量解析	3.67	4.00	49
190300	データサイエンス II/多変量解析	4.60	4.60	11
190003	データサイエンス III /ビッグデータ解析基礎	3.73	3.68	55
195004	科学者・技術者倫理と知的財産	4.31	4.34	146
195003	地域デザイン PBL	4.41	4.12	152